

# 湯河原ロータリークラブ



## WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう  
博愛を広げるために

第 2420回 例会

平成 23年 10月 21日 (金)

天候 曇り

合唱 奉仕の理想

四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25

中川方 TEL/FAX 0465(62)3056

例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721

ニューウェルシティ湯河原

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

### 会長挨拶

今年度の地区大会も終わり出席された会員の方々お疲れ様でした。

第1日目に行われました規定審議会に提出する案件5件は全て可決されました。

1. 小田原RC提案 「R財団補助金、奨学金プログラムの資格者の範囲」
2. 茅ヶ崎湘南RC提案 「ロータリーの綱領」
3. 茅ヶ崎湘南RC提案 「ロータリーの綱領の中での職業奉仕」
4. 地区提案 「ロータリーの広報」
5. 大和中央RC提案 「会員身分」

午後から各委員会報告

会員増強、会員維持委員会では新会員の集いを2012年2月10日ウェルシティで1泊の予定で行います。

職業奉仕委員会からはロータリー文庫の活用をもっとしてもらいたい。

セミナー「地区指導者育成セミナー」

長期計画の戦略「クラブ研修リーダーの役割と実践」

講師は第2500地区PG足立功一氏(釧路北RC)

第2日目で湯河原クラブはRI会員増強・拡大賞クラブとして最高の会員維持率で表彰されました。(退会者がいない)

以上が地区大会での報告です。

10月もあと僅かになりました。公式訪問や地区大会も終わりIMを除くと4月の50周年が待っています。それに向かって楽しく活動をして行きたいと思っています。会員皆様方のご協力をお願いいたします。

### 幹事報告

ガバナー

1. 地区大会参加の御礼状
2. 11月のロータリーレート 1ドル=78円

米山奨学会

1. (財)ロータリー米山記念奨学会ニュース  
ハイライトよねやま139号(10/13発行)

連絡事項

1. 次週10/28(金)の例会場は3F「梅香」です

### スマイルBOX

石川雅雄君 会員誕生日 10/22

小松雄成君 結婚記念日 10/21

平間章弘君 婦人誕生日 真実様 10/22

地区大会に欠席した会員

出席報告	ゲスト 1名 ビジター 0名	
	会員 26名	欠席 4(2)名
	出席率 91.67%	
	前回の修正出席率 100%	前々回の修正出席率 96.00%

## 卓 話

米山奨学生 ス 琴様

「私と日本の繋がり」

日本に来てから、もう3年ぐらい経ちました。振り返ると、日本に来て本当によかったと思っています。大学に入るまで、日本の文化、風俗習慣どころか、日本料理さえ知らなかったです。大学に入って、天津で、豊田を始め、たくさんの日本の企業が集まっていることを知り、中国と日本の深い経済関係性を実感しました。天津で、日本語がけっこう人気があるので、私も勉強し始めました。そのうち、日本のアニメ、ドラマなどに夢中になって、日本の文化なども勉強できました。日本人と深く関わってきたのは大学3年生の時、栗飯原先生という日本人先生が来ました。すごく優しくて、日本料理を作ってくれたり、日本楽器を演奏してくれたりして、一緒に楽しい時間を過ごしました。勉強だけではなく、日本のことをいろいろ教えてくれました。先生の話聞いて、日本に憧れて、もっと日本のことを知りたくて、日本に留学することを決めました。ちょうど2008年、私が留学の準備をしていた時、オリンピックを北京で行って、中国の環境問題について、非難を浴びました。それをきっかけ、日本で環境分野を勉強することを決心しました。私は一人40キロぐらいの荷物を持って、日本に来た瞬間、留學生活は気楽なことではないと気付きました。最初、物価が高く、あんまり親の負担にかかりたくないから、夜11時までバイトし、家に帰っても、話し相手さえいなかったです。さびしくてたまらなかったのも、なぜ日本に来たのかと迷った時期もありました。周りの方のおかげで、だんだん慣れてきて、無事に大学院にも入って、生活も面白くなってきました。みんなと一緒に相談しながら、勉強することが好きで、緊張しながら、発表することも、グループワークのことも、フィールドワークのことも好きです。私の人生に対して、日本に留学することは決して、大きな意味があると

2

日本に来てから、いろいろな方の世話になりました。大学時代の栗飯原先生は保証人としていろいろの面で面倒を見てくれました。ある日、いつもお世話になって、どう返せばいいですかと先生に聞きました。先生は、私は中国にいる時、いろいろな人から世話になって、返すことはできないから、そういう気持ちをあなたに伝えていきたいです。だから、あなたも私に返すではなく、伝えていけばいいですと答えました。あの時、人と人の繋がりを与える、返すではなく、こういう温かさを伝えていくことが大事だと気付きました。今、ロータリーの方々からの世話になっています。皆様に返すことはできないかもしれませんが、この恩情を覚え、困っている人、苦しんでいる人に伝えていくことは自信があります。その繋がりによって、国籍を問わず、お互いに理解し合い、素晴らしい世界になるでしょう？

(原文)



### NPO法人湯河原げんき隊からの お知らせ

神谷一博君

11月12日(土)午後7時~8時 湯河原商工会館に於きまして、「詩と動揺と昔ばなし等で綴る常田富士男のあったか話」が開催されます。会費は500円

皆様お誘い合わせてご参加下さい。